

変わらない人と変わる人たち

聖書の中の主役はイエスですが、もう一人主役は群衆です。そして、その群衆は姿は刻々と変えていくのです。ある時はメシヤを待ち望む人々として、またある時は、正反対の姿でイエスの業を神への冒瀆だとして糾弾する人々であるのです。これはどうしたことでしょうか？

群衆とは変わるものなのです。利害によって刻々と変化していくのです。それに対してイエスは、すなわちメシヤは一つの価値基準を決して変えることがない存在です。十字架の絶頂でさえ神の国を忘れずその存在を人々に示し続けました。その結果、神の国への希望はイエスの死後も、2000年のクリスチャンに引き継がれるようになったのです。

このような変わらぬ姿はまさしく神の姿なのです。人類が墮落しようとその愛は変わらず一貫した基準を保ち続けたのです。その基準を地上に立てるために来られたのがメシヤであるならば、変わらないのは当然です。イエスと群衆の葛藤、それは「変わらぬ者」と「変わる者」の対立でした。群衆はなぜ変わってしまったのでしょうか？一人の人間に立とうとはせず、群衆の中に紛れこもうとしていたからです。集団を隠れ蓑にしまいました。

結局は一個人としてしか神の前には進み出れないのです。神・メシヤ・私。この関係さえ一本通っていたら人々は変わりゆく群衆にはならなかったでしょう。群衆になってはなりません。留まってはなりません。群衆の中から1歩進み出て、メシヤと1対1で対することが出来る私達にならなければなりません。真の主人になる為には、群衆になってはならないのです。

本教会の礼拝に初めて参加された方を心から歓迎いたします
天の父母様と真の御父母様の祝福が共にありますようお祈り致します

1. お誕生日を迎えた食口の皆様、おめでとうございます。
2. 聖和 2 周年特別精誠期間
TFが聖和され、震災3年を越え2014年7月にラスベガスのPeacePalaceがついに奉獻されることになりました。聖和の直前まで日本を愛してくださったTFの愛を追慕し震災から3年の期間を象徴した3次に渡る2周年特別精誠期間をもって参りますので天一国時代を超えて日本の復興を具体的に天に奉獻して参りましょう。
1次:天暦2月3日(陽暦3月3日)~天暦4月2日(陽暦4月30日)
2次:天暦4月3日(陽暦5月1日)~天暦6月4日(陽暦6月30日)
3次:天暦6月5日(陽暦7月1日)~天暦7月16日(陽暦8月11日)
3. 真のお父様聖和二周年 93 日伝道路程
◆条件:「原理講論」または「天聖經」完読
◆目標:一家庭祝福伝道
◆期間:2014年5月12日~8月12日(陽暦)
4. 神霊と真理신나계伝道主体者集会
日時:7月8日(火)10:30~
場所:大宮教会
5. 代々木聖地祈禱会
日時:7月10日(木) 5:00~
今回は「真の父母の絶対価値と民族的メシヤの道」を訓読しますのでご持参願います。
7. 3万双家庭会2014年総会
日時:8日23日(土) 11:00~16:00(受付開始10:30)
場所:新宿教会2階礼拝堂 ○参加費:500円
8. 千葉中央修練所・8月の短期修練会
『原理の要点・祝福の意義と価値』特別 3日修
『原理の要点・現代の摂理』特別 3日修
日時...8/12 20:00 集合(夕食済ませて) ~ 8/15 16:00 解散
9. 真のお父様聖和2周年訪韓
日時:8月11日~13日
お早目にお申込みお願いいたします。
東埼玉92名、浦和教会20名
10. VISION2020 勝利の為の基台長及び区域長修練会
第15回:2014年7月17日(木) ~ 7月22日(火) 中止になりました
第16回:2014年8月12日(火) ~ 8月17日(日) 中止になりました

【年頭標語】

창조주 하늘부모님을 닮은 참사랑을 실천하는 천일국의 참주인이 되자!

創造主、天の父母様に似た、真の愛を実践する
天一国の真の主人になろう!



浦和教会

Holy Spirit Association For Unification
of World Christianity Urawa Church
世界基督教統一神霊協会

教区長：李 炯燮 牧師

さいたま市南区南浦和1丁目23-12
Tel : 048-886-8774 / Fax : 048-886-8797
E-mail: uc.urawa@gmail.com

式次第



執礼者：李 炯燮教区長

司会者：赤岩弘一部長

開 会	司会者
黙 禱	全 体
※開会讃頌 聖歌 29番	全 体
※敬 拝	全 体
※家庭盟誓	全 体
代表祈禱	木村光子
讃 頌	聖歌隊
み言訓読	全 体
説 教	7月の天の祝福	
※讃 頌 聖歌 19番	全 体
※祝 禱	執礼者
※全体祈禱	全 体
教会音信	司会者
閉 会	司会者

～お願い～ ※印のある項目は、全員起立して進行いたします

『 生めよ、殖えよ、地に満ちよ 』

今週のみ言

私たちは、還故郷して真の故郷に帰っていかなければなりません。故郷とはどこでしょうか。真の故郷は、愛のある所です。故郷は、「私」の動脈の血が歴史と共に動く所です。私が成長する時、その地方のすべての要素を吸収して大きくなったからです。私の細胞と共に、血と共に、心臓の鼓動と共に躍動する所です。愛の感情を抜き去ることのできない、深い内容が隠れている所が故郷です。故郷に行けば、誰を訪ねていくのでしょうか。故郷を訪ねるときは、父母の懐が慕わしくて訪ねていくのです。

宗教は、人間が故郷を追求することに対して、多大な貢献をしました。天国に行こう、あるいは理想世界に行こう、極楽世界に行こうと言いますが、そこは私たちが暮らしているこのような所ではありません。私たちが永遠に暮らせる本郷の地です。正にこのような面において、宗教は本郷を追求することに貢献したのです。

それでは、そこは、どのような所でしょうか。すべての条件が備わっている所です。心と体が少しも不足を感じない完全無欠な所です。そこを人類は今、追求して進んでいるのです。しかし、いくら故郷に行くといっても、喜んでくれる人がいなければむなしいのです。



～天聖經 第九篇 第2章氏族的メシヤ～

統一運動

「第7回 天一国小中学生芸術奨学金授与式」を開催

天曆6月3日(陽曆6月29日)午後2時から、都内の会場で「第7回 天一国小中学生芸術奨学金授与式」(主催:本部家庭教育局)が、文薫淑様と宋龍天・全国祝福家庭総連合会総会長夫妻を迎えて行われ、首都圏の小中学生をはじめ、父兄ら約400名が集まりました。第一部のオープニングでは、首都圏の小中学生120名による合同鮮鶴合唱団、千葉鮮鶴合唱団、千葉鮮鶴合唱団&New Hope Choirの3組の合唱団が、それぞれ透き通る美しい歌声を披露しました。今回の受賞者を紹介する映像上映に続き、7名の受賞者の中から3名が、一輪車のパフォーマンス、韓国語による韓国の童話の紙芝居朗読、ピアノ演奏と、堂々とした演技を披露しました。

続いて、過去の受賞者たちが演技を披露する時間があり、民謡の歌唱、ギターやピアノ演奏、バレエなど、それぞれが完成度の高い演目で会場を沸かせました。第二部の授与式では、登壇した文薫淑様と宋龍天総会長夫妻から受賞者一人ひとりに奨学金と記念品が授与され、過去の先輩受賞者にも記念品と金一封が贈られました。

文薫淑様は激励の辞で、日本の教会員に感謝の言葉を述べられた後、途中、英語を織り交ぜながらスピーチされ、芸術の目的や重要性を説明。「芸術家を育てるのには時間が掛かります。子供たちを励ましながら、成長を温かく見守ってください」と父兄らに呼びかけられました。

